

市報

にす

けれど、うみには、すばらしい
ものが、いっぱいあった。
おもしろい、ものをみ
スイミーは、た
げんきをと
にじろの、ゼ

すてきな
フルドナー
ミ

平成5年

10/1号

No. 743

うるおいと活力あふれ 未来にはばたく交流都市

デイ・サービスセンターで
くつろぐお年寄り



老人保健福祉計画の

策定に向けて

2020年には4人に1人が高齢者

日本の人口の高齢化は、諸外国にも例を見ない速さで進んでおり、その水準は世界のどの国も経験したことのないような高いものになると推測されています。それは、戦後の国民生活と公衆衛生水準の向上、医療技術の進歩などにより平均寿命が大幅に延びたことや、出生率の低下によるものと思われます。

日本の総人口に占める六十五歳以上の高齢者の割合は昭和六十年に一〇%を超え、平成三年には一二・六%に達しました。平成十二年（二〇〇〇年）には一六・九%、さらに平成三十二年（二〇二〇年）には二五・二%と四人に一人がお年寄りという超高齢化社会になると見込まれています。このため、今後増加が予想される寝たきり老人や痴呆性

老人の介護、高齢者の雇用などの問題に適切に対応していくことが大きな課題となっています。

本年度中に老人保健福祉計画を策定

国では平成二年に老人福祉法や老人保健法などの改正を行い、在宅・施設福祉サービスを計画的に提供できる体制をつくるため、住民に最も身近な市町村に老人保健福祉計画の策定を義務づけました。

鳥栖市でも、保健・医療・福祉の各分野にまたがる複数のサービスを総合的、計画的に整備する指針として「鳥栖市老人保健福祉計画」を本年度中に策定し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って安心して暮らせる社会づくりを目指していきます。

「高齢者ニーズ調査」から

その計画策定の基礎資料として、高齢者の現状とニーズを把握するため昨年九月、在宅の六十五歳以上の方全員を対象に「高齢者ニーズ調査」を行いました。

対象者七千百十四人のうち、調査を行ったのは施設入所者などを除く七千九人で、有効回答者は六千五百九十二人。回収率九四・一%。調査内容は世帯・住宅の状況、高齢者の健康・生活動作の状況、介護を必要とする老人の状況、保健・福祉サービスの利用状況、生きがい活動などで、民

増えるひとり暮らし、高齢夫婦世帯

鳥栖市の高齢化の推移を見ると、下の表のように○歳から十四歳までの年少人口が減少し続けているのに

▼人口の推移

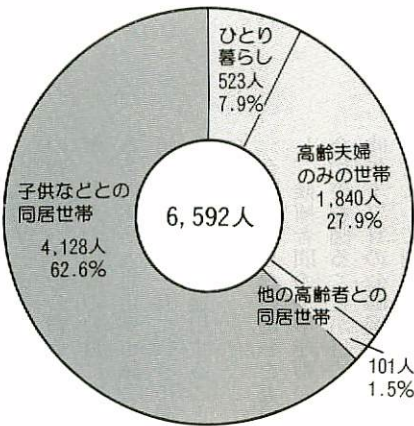
	S 60	H 2	H 3	H 4
0～4歳 (年少人口)	13,162 (23.6)	11,224 (20.1)	10,997 (19.6)	10,660 (18.9)
15～64歳 (生産年齢人口)	37,027 (66.4)	37,936 (67.9)	38,077 (67.9)	38,397 (68.2)
65歳以上 (老年人口)	5,598 (10.0)	6,687 (12.0)	6,981 (12.4)	7,198 (12.8)
老年化指数	42.5	59.6	63.5	67.5

※S 60、H 2は国勢調査、H 3、H 4は国勢調査推計人口による(各年10月1日現在)。

六十一年から毎年○・四ポイントずつ増加しています。また、老年化指数(年少人口に対する老年人口の比率)も毎年約四ポイントずつ上昇しており、高齢化が確実に進んでいます。アンケート回答者のうち、

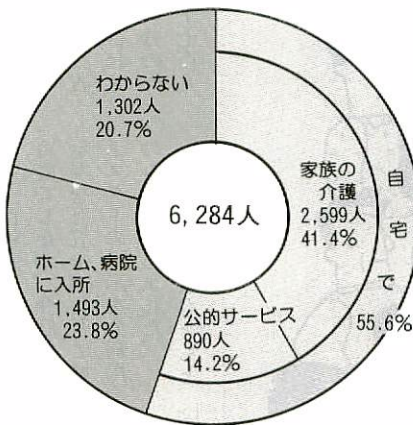
ひとり暮らしは五百二十三人で全体の七・九%、高齢夫婦のみの世帯人口は千八百四十人(九百二十世帯)の二七・九%、他の高齢者との同居世帯人口は百一人の一・五%、また、子供などとの同居世帯

▼高齢者世帯の状況



元気で生活している高齢者に、もし仮に介護が必要になった場合は、どこでどのような介護を受けたいかという質問をしたところ、「自宅で介護を受けたい」が五五・六%、「ホームや病院に入所したい」

▼もし、介護が必要になったら



が二三・八%となっており、「自宅」という人のうち「家族の介護を受けたい」人が七割以上を占め、住み慣れた住居内で、しかも家族による介護を希望している人の多いことが分かります。

住み慣れた住居で家族の介護を希望

人口は四千二百二十八人の六二・六%となっています。高齢者のひとり暮らしは、昭和六十一年の国勢調査では三百六十三人、平成二年調査では四百八十九人、そして今回の調査では五百二十三人に増えていること、また、高齢夫婦のみの世帯は数年後にはひとり暮らし世帯となる要因を含んでおり、高齢者の子の同居率の低下などにより、今後ますますひとり暮らしや高齢夫婦のみの世帯が増えていくと思われる。

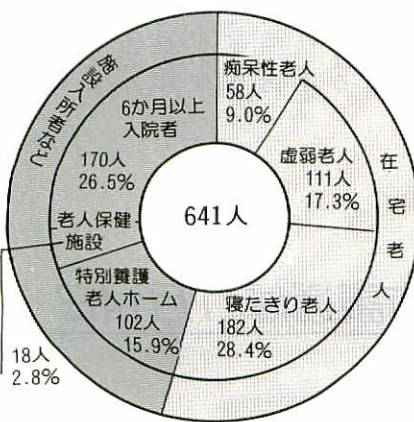
病気や緊急のときの連絡先としてトップに挙げたのは「別居の子供・親族」の八三・八%で、次いで「かかりつけの医師」四一・四%、「隣近所の人」二八・〇%などとなっていますが、隣近所の人に連絡する人が県平均の三五・二%を七・二ポイント下回っていることや、連絡する人がだれもいない人が○・五%いることを考えると、地域の連帯意識をはじめ緊急通報システム、愛の一声運動、ヘルパー派遣などの対策を強化していく必要があります。

高齢者の10人に1人は要援護老人

また、現在の活動で生きがいを感じているもののトップは「働くこと」で四一・四%、「近所との付き合い」四〇・〇%、「旅行」三六・一%、

「買い物」二三・九%、「趣味の会」二三・六%、「高齢者スポーツ」一一・三%、「ボランティア」四・五% (※複数回答) となっています。

▼要援護老人の人口



このうち、施設などの入所者を除く三百五十一人が在宅の老人で、要援護老人の過半数を占めており、うち、常時介護が必要な寝たきり老人と痴呆性老人がそれぞれ百八十二人と五十八人、移動と入浴に介助が必要な虚弱老人が百十一人となっています(※痴呆性老人の数は、国が示す在宅痴呆性老人の性別・年齢別出現率から求めた推計です)。

また、高齢者の介護に当たっている家族の人に、今後どのように介護していきたいかを尋ねたところ、「自宅で家族などだけで介護に当たりたい」とした人が四二・二%、「自宅で家族などの介護のほか、ホームヘルパーやショートステイなどを活用したい」が三一・八%と、両方合わせて七四・〇%が自宅での介護を考えており、在宅サービスの必要性を示しています。

ポスター作成の公営化を実施

市長選・市議選

1. 供託金の額の引き上げ
○市長選挙 50万円⇨100万円
○市議会議員選挙 20万円⇨30万円
2. 選挙運動に関する支出制限額の引き上げ（改正後）
○市長選挙 $81円 \times \text{選挙時選挙人名簿登録者数} + 310万円$
○市議会議員選挙 $501円 \times \text{〃} \div 30 + 220万円$
3. 選挙運動用葉書の郵送の無料化（候補者1人当たりの公費負担最高限度額）
○市長選挙 $41円 \times 8,000枚 = 328,000円$
○市議会議員選挙 $41円 \times 2,000枚 = 82,000円$
4. ポスター作成の公営（候補者1人当たりの公費負担最高限度額）
 $2,135円 \times 154枚（ポスター掲示場の数） = 328,790円$

▲改正の主な内容

気をつけて！ 飲食物の提供の禁止

だれでも、選挙運動に関し、どんな名義であっても、飲食物（湯茶およびこれに伴い通常用いられる菓子は除く）を提供することはできません。例えば、次のようなことは違反になります。

- ▼有権者が、候補者へ陣中見舞いの酒や料理などを提供すること
- ▼選挙事務所に来た人に、酒や料理などを出すこと
- ▼運動員や労務者に酒を提供すること（運動員や労務者に選挙運動期間中、法定数の弁当を提供することはできます）



十一月二十九日で任期満了となる市議会議員選挙の日程は次のとおりです。
詳しくは鳥栖市選挙管理委員会（☎3507）へお問い合わせください。
立候補届出事務説明会 十月十三日（水）午前10時、市役所三階大会議室
告示日 十一月七日（日）
投票日 十一月十四日（日）

市長選挙と市議会議員選挙の費用の一部を公費負担する、ポスターの作成の公営に関する条例案が九月定例会市議会で可決され、十一月に行う市議会議員選挙から適用することになりました。

運動用通常葉書の郵送料を公費負担とすることのほか、条例を制定すれば「選挙運動用ポスターの作成の公営」、「選挙運動用自動車の使用の公営」ができるようになったことを受けての取り組みです。

市民のみなさんご理解をお願いします。

公営の内容は、市内に設置する公営掲示場の数に合わせたポスター百五十四枚分の作成費用を三十二万八千七百九

十円を限度に負担するというものです。ただし、供託物が没収される場合は負担しません。

ポスターについては、これまで市内に公営掲示場が八十一か所あり、候補者一人につき千二百枚までは任意で掲示可能でしたが、今回、公営掲示場を百五十四か所に増やし、ポスターの掲示を公営掲示場のみに限定しました。

公職選挙法はもとより、国

または地方公共団体が候補者の選挙運動の費用を負担するなどの選挙公営制度を採用しており、国政選挙ではすでに選挙運動用葉書の郵送料と印刷費、選挙運動用自動車の使用、ポスターおよびビラの作成、新聞広告、政見放送、選挙事務所での立て札と看板、選挙運動用自動車に取り付ける立て札と看板、個人演説会の立て札と看板が公営化（公費負担）されています。

市議選は11月14日

土地基本調査にご協力をお願いします

十月から十一月にかけて全国の約七十万の法人と約六十万の世帯を対象に「土地基本調査」が行われます。この調査は、わが国の法人と世帯の土地の所有状況や利用状況などを調査するもので、その結果は宅地開発計画や土地利用計画などの土地政策の基礎資料となります。

法人調査は国土庁が県の協力を得て、郵送方式で行われます。

世帯調査は総務庁統計局が県、市を通じて、対象となった世帯に調査員が直接伺いする方法で行われます。十月下旬に調査員が調査票の記入のお願いに伺い、十一月初めごろ調査員がもう一度調査票を集めに伺います。

ご協力をお願いします。

お問い合わせは、法人は県土地対策課（☎0952-27034）、世帯の方は市企画課広報統計係（☎3513）へ。

一人暮らしの寡婦と父子家庭に医療費を助成します

一人暮らしの寡婦と父子家庭の方々に十月一日から医療費の助成を行います。助成を受ける方は事前に福祉事務所に申請する必要がありますので、該当すると思われる方は早めに申請を済ませてください。詳しくは同事務所社会係（☎3552）へ。

なお、この制度の主な内容は次のとおりです。

〔助成対象者〕

①二十歳未満の児童を育てている父

②父子家庭の父が育てている児童（ただし十八歳に達した年度末まで）

③一人暮らしの寡婦（かつて母子家庭の母であった方で、

現在一人暮らしの方）

〔助成の要件〕

①国民健康保険や社会保険の被保険者や被扶養者となっている人（ただし、一人暮らしの寡婦の方は被保険者本人であること）

②生活保護法などの法令によって医療費の全額を負担されていない人

③一定基準以下の所得であること

〔助成の方法〕

助成対象者の方は病院などに従来どおり支払いをし、翌月に前月分をまとめて病院などから支払い証明を受け、市に支払いの請求をすれば、前月支払った全額を支給します。

十月九日（土）から同二十四日（日）まで、交通安全ポスターと河川浄化ポスターコンクールの入賞作品を市立図書館二階展示ホールに展示します。子供たちが夏休みに頑張った力作をご覧ください。

●交通安全ポスター【小学生・応募八十五点】一等〃八坂智絵美（鳥栖小六年）▽二等〃増本まさのり（同三年）大塚未央（鳥栖北小五年）▽三等〃多田あさ美（同五年）早田弘喜（鳥栖小六年）水田英伸（同六年）▽入賞〃たかたあけり（同三年）井上あずみ（同三年）梅岡佐知子（同三年）野下たかし（同三年）松本朱美（同五年）緒方里咲（同六年）篠原謙一郎（基里小五年）北島あゆみ（田代小五年）野田朋宏（同五年）権藤清（同六年）

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

●入賞おめでとう

めざせ！健康

ひろげよう！ふれあいの心

第9回市民健康福祉まつり



10月17日(日) 9時・市民公園一帯

第九回市民健康福祉まつりを十月十七日(日)、市民公園一帯で開催します。午前九時から総合開会式では国民健康家庭と習字コンクール入賞者の表彰、三世代健康福祉宣言などを行い、十時から各種イベントがスタートします。

■参加者を募集しています

◆とすつこドッジボール大会 男女別の小学四・五・六年生（選手八人・補欠二人）と責任者一人で一チーム。申し込みは十月六日から十一日まで

に子どもクラブ連絡協議会事務局（中央公民館内 ☎3646）へ。男女それぞれ先着二十四チームまで。

◆大綱引き大会 小学生、大人各百人。申し込みは社会体育課（☎3522）へ。

◆スパーキックベースボール 小学生（選手五人・補欠三人）と保護者（監督一人・コーチ一人）で一チーム。申し込みは十月十二日までに社会体育課（☎3522）へ。先着八チームまで。

小北栖鳥 お待ちかね！新校舎が落成 プラネタリウムや二十一畳の作法室

洋風の近代建築様式を取り入れた鳥栖北小学校の落成式が八月二十八日、同校体育館で行われました。

落成式には、市長はじめ児童、教職員など関係者約四百

五十人が出席。式典の中で、山下市長が「児童のみなさんが二学期からこの新しい校舎で心も新たに、自分の個性をのびし、豊かな心を持った子供に成長されるよう願っています」とあいさつ。児童を代表して、六年の武廣寿典君が「初めて見た時、とても大きく広かったので、びっくりしました。これから僕たちがこなすてきな学校で勉強できるなんて、とても楽しみです。勉強にスポーツに一生懸命がんばりたいと思います」とお礼のことばを述べました。

新校舎は鉄筋コンクリート造り三階建て、延べ床面積七千四百二十二平方メートルで簡易保険の資金還元融資施設。重厚な造りの正門をくぐると校舎入り口には、大きな四本の円柱が立ち、ギリシャ風神殿を思わせる造り。校舎中央部には三角屋根の塔屋がそびえ、半径五百メートルの地域には、そこに取り付けられたスピーカーからミュージックで時を告げるように計画しています。中庭にはジャンクションを图案化して、緑・赤・黄の人工芝を敷きつめ、南北の校舎間に

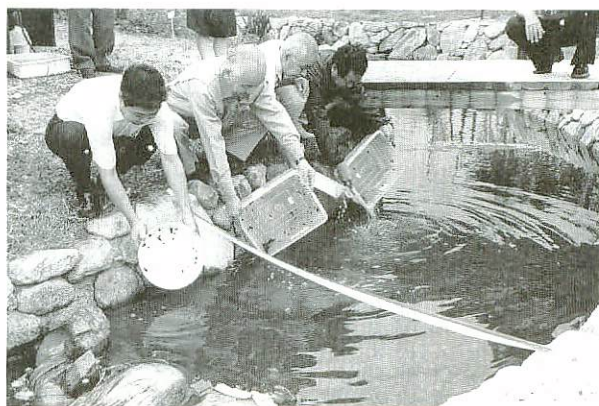
大きな4本の円柱が立ち、ひと際目をひく校舎正面入り口

ます」とあいさつ。児童を代表して、六年の武廣寿典君が「初めて見た時、とても大きく広かったので、びっくりしました。これから僕たちがこなすてきな学校で勉強できるなんて、とても楽しみです。勉強にスポーツに一生懸命がんばりたいと思います」とお礼のことばを述べました。

鳥栖ほたるの会

蛍の幼虫6千匹を放流

来年5月末には夜空にお目見え



蛍水路に放流する市長と会員のみなさん

ほたるの名所復活を目指す

鳥栖ほたるの会(宮原久会長、十八人)が八月二十四日、神辺町と萱方町にまたがる池田(下)ため池内の蛍研究所で養殖された蛍の幼虫約六千匹を山下市長らとともに研究所横の蛍水路に放流しました。

幼虫は体長が一・一・五センチほどで、同会が五月に萱方町の河川などから採取した親蛍に産卵、ふ化させて育てたもの。幼虫の生息に適するように研究所内の室温と幼虫を入れた水槽の水温を二十五度前後に保ち、水の入れかえやエ

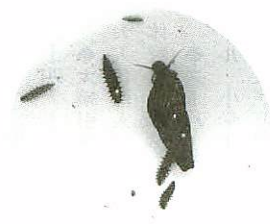
サのカワニナを与えるため、

会員が交代で面倒を見ていました。研究所内には、まだ約三万七千匹の幼虫が育っており、同会では、十月中には河内ダム上流の大木川、神辺町松本、神辺町老松宮東側、萱方町の水路に残りの幼虫すべてを放流。来年五月末ごろには夜空に蛍の美しく乱舞する姿が見られるということです。鳥栖ほたるの会は、平成元年、結成と同時に神辺町松本にほたるのエサとなるカワニナの養殖場を設置、今までに約二十万匹を超えるカワニナ

を市内各地の河川に放流してきました。

会員たちは試行錯誤の末、カワニナの繁殖に最適な独自のエサを開発するなど、カワニナの養殖技術では九州でも一番。北九州など九州各地から視察に訪れるほどで、八月には知覧町からの依頼でカワニナ約五千匹を送りました。また、市内各地を回って蛍の生息調査なども行っています。

同会の緒方恭市さんは「第一の目標はキューピー(株)鳥栖工場横から河内ダムまでの大木川に光の帯をつくること。次が中央公園に蛍を飛ばし、たくさんの人に見てもらうことです。そのためには河川浄化が不可欠。幼虫たちにとって、セメントのアクや生活雑排水は禁物で、市民のみなさんも川を汚さないよう気を付けてくれれば……」と話されます。



カワニナ(中央)と蛍の幼虫

基里地区婦人会

会員が魚料理に挑戦

福水協が新鮮な魚を提供

本職の庖丁さばきに見入る参加者



子供の魚離れを防ぐためにはまず主婦からと、基里地区婦人会が九月十七日、基里公民館で会員を対象に「魚を使った料理教室」

を開きました。同婦人会では、活動の一つとして毎月一回、料理教室を開いていますが、今回は特に魚の消費拡大に力を入れる福岡水産物商業協同組合がタイ、スズキ、キス、アワビ、サバ、イカ、エビなど新鮮な魚を提供。同組合鳥栖基里地区の加盟店（十七店）から助っ人二人も参加して、魚のさばき方などを実演・指導しました。

最近バツクに入った切り身や刺身になった魚が多くなり、家庭でさばく機会がほとんどない参加者は、手ぎわよく三枚におろしたり、刺身にしたりする本職の庖丁さばきに見入っていました。

その後、参加者はスズキのくずたたき、いとよりのムース、生鮭

の幽庵焼き、やりいかのベスピアス風煮込みなど九種類の料理に挑戦。西洋料理風にアレンジされたものなど、どれも子供たちが喜んで食べられそうな色鮮やかな魚料理がズラリとでき上がりました。

同教室に協力した福岡水産物商業協同組合三郡支部佐賀地区長の野良則さんは「日本人の魚離れが進む中、魚のよさを知ってもらい、新鮮で安全な魚をみなさんにいかに食べてもらうか私たちも一生懸命。これからも市内各地区で催す料理教室をはじめ、子供たちに魚のことについて教えてという要望があれば、積極的に協力したい。ぜひ、連絡を」と呼びかけています。連絡は野良則（萱方町 ☎5441）へ。

ある屋外運動広場は、屋根部分強化ガラスで覆い、子供たちの憩いの場に。

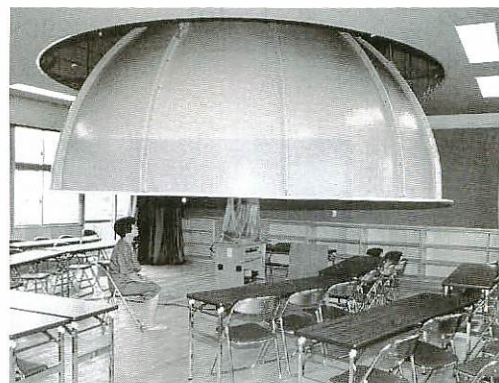
また、校舎の内装は壁にスギ、教室の床や廊下にヒノキをふんだんに用い、コンクリートの冷たさを感じさせないように配慮。理科教室にあるプラネタリウムは、九州でも初めてという直径五メートルの昇降式のドーム型スクリーンを採用しています。

別棟には、調理室のボイラーを利用して床暖房する六角形をしたユニークな図書館や家庭科やクラブで活用する畳二十一畳の作法室などがあり、地域住民の生涯学習の場としての利用も期待されています。

屋内運動場はトップライトの採用で明るく、面積も千六百九十平方メートルと以前の二・四倍の広さ。二階部分には、観客席やミーティング室、トレーニングスペースも備えています。総事業費は二十三億七千三百三十九万四千円。

鳥栖北小学校は昭和三十一年

年、鳥栖小学校の第二分校として設立され、翌年に独立。旧校舎は一昨年八月に取り壊されるまで三十四年余り、市最後の木造校舎として地域住民からも親しまれていましたが、老朽化がはげしく、教育機能が低下していたことから建設されたものです。



理科の授業で活用されるプラネタリウム

ごみ指定袋制実施に向け

懇話会で

ごみ問題を検討

市では、増え続けるごみの減量化と分別収集を図るため、指定袋によるごみ収集と指定シールによる粗大ごみの収集を、来年度実施を目指して検討中で、すでに今年六月から市内六町で指定袋制を試行していますが、市民レベルでごみ問題を考える「ごみ処理問題懇話会」の第二回目の会合が八月三十日、市役所会議室で開かれ、市民や団体の代表など十一人がごみ処理対策について話し合いました。

懇話会では「ごみを出した人が責任を持つように、袋に名前を記入しては」「町中では生ごみを堆肥化できる場所がない。町区にいか所ぐらい設けたらどうか」「資源回収業者がなかなか来てくれ



相次いで意見や要望が出された第2回目会合

トピックス

交通指導員25年に総務庁長官表彰

宮原 哲巳さん(63歳・鎗田町)

「飲み過ぎなどで起きるのがつらい朝でも、街頭に立ち子供たちの『おはようござい

ます』の元気なあいさつを聞くと、一遍で体がしやきつとなりますね」



二十五年間、交通安全指導員として、交通安全意識の高揚と事故防止に尽力した功績により九月二十二日、東京で交通安全功労者総務庁長官表彰を受けられました。全国で個人二十一人が受賞。

現在、市交通安全指導員会と鳥栖北地区

交通対策協議会の会長を務め、街頭指導や交通安全教室、安全ミラーの清掃、夜

間パトロールのほか、昭和四十八年から鳥栖北地区約三千世帯に配布、回覧している交対協ニュースの作成も今月で百七十八号を数えるなど、精力的に交通安全活動に取り組んでいます。

「おはよう」と声をかける朝のあいさつ運動を長年にわたって推進してきました。
「恥ずかしいのか」あまりしない子にも、粘り強くしていると、だんだんとするようになってきます。あいさつをする事で目が覚め、周囲へ目がいき、交通安全につながるんですよ」
「街頭に立つて事故が起きない度に、本当に良かったと思うし、それがやりがいですね。でも、交通安全と事故防止は日常生活での家族の会話が一番大切です」
子供たちの元気なあいさつを励みに、一つでも事故が少なくなるよう今日も街頭に立ちたいです。

あんひと
こんひと
⑭

市役所 ままぶ

⑥ 総務部税務課管理収納係

松雪 素子



管理収納係は、市民のみなさんに納税をお願いする業務のほか、所得・納税・課税証明等の発行をする市民の方と密接した係です。電算オンラインシステムによる証明の発行や納税状況についての回答など、みなさんをお待たせしないように、また、納得していただける説明ができるように心がけています。

農業 新時代

◁29▷

「ふれ愛の翼'93」マレーシアなどを訪問

藤木町の手島玲子さんは、水稲、麦、アスパラ、肥育牛を営営する専業農家のヤングミセス。今年県が初めて企画した「ふれ愛の翼'93」に参加し、八月二十二日から五日間、マレーシアとシンガポールを訪

問しました。「翼」には農林漁業、商工業に携わる県内の若い女性百人が参加しています。面積三十三万平方、人口千七百三十五万人で、農業就業人口が全就業人口の三十三割を占めるマレーシアでは、



将来は「肥育牛先進国へも」と手島さん

「技術面では日本が数段も進んでいて、あまり参考にありませんでしたし、一番知れたかった畜産についても、宗教上、豚肉や牛肉がタブーとされている上に、輸入品の方が値段が安いので、畜産は盛んにならないようです」

「藤木町でも専業農家はうち一軒だけ。話し相手もなかなかいないですね。将来は農業をしていかなくては思っているんですが。でも一緒に視察に行った人で、しっかり農業に集中している人たちの話を聞くと、うらやましくも思いますし、自分自身の刺激にもなりました」
将来は「わが家の経営の参考になるような肥育牛の先進国や日本の優良農家を見てみたい」と話します。

「赤い大地の会」

いま日本農業の危機が叫ばれ、その要因の中に後継者難が大きく取り上げられている。鳥栖地区にとっても後継者難は深刻である。

三年前、久保研介さん（福岡市在住）の紹介で、福岡県のブラジル派遣農業実習生で組織された「赤い大地の会」の会員十四名を鳥栖市に招き、後継者として鳥栖市で健闘中の農業青年十二名との交流を行った。

農業実習生を派遣、すでに今年十五周年を迎えている。実習生はブラジル移民として日本を離れ、苦闘の末農場主となった福岡県人家庭を受け入れ先として、三か月間の厳しい研修を受けて帰国する。そして「赤い大地の会」の会員としてお互いに励まし合い、農業後継者の道をまっしぐらに進むのである。

交流会の席上、福岡、鳥栖双方の青年がそれぞれ自己紹介と体験発表を行った。「赤い大地の会」のメンバーは農地の有効利用に努め、米麦にこだわらず、栽培する品種も多彩であった。ある青年は、私はいま、主体をイチゴから棕櫚竹など観葉植物に作目転換中なので、月収は十万円そこそこ。これで親子四人暮らしているが、少しも苦しくない。五年後の年収五千万円という希望をもっているからだ」と明るく語った。

そしてあの日から三年後の今日、久保さんからの報告によると、彼はいま月収四百万円をあげているという。約束の五年より早いスピードである。これは赤い大地の会同志の支援にもよるが、ブラジルの大地で学んだ国際的農民魂によるものと思う。

しかしブラジルはいま、二十数年来の超インフレで国民も疲れ切っているという。一日一割、年率一〇〇〇割を超えるインフレは日本では想像もつかない。しかも干ばつ六か月、水害三か月の苛酷な



暇さえあれば練習に励む篠崎さん

九月十一日、佐賀市で開かれた県身体障害者スポーツ大会

Viva! ビバ スポーツ (26)

県身障者スポーツ大会

アーチェリーで優勝

会のアーチェリー・ハーフの部（五十メートル・三矢・聴覚障害）で、篠崎功さん（六十三歳、桜町）が全国新で優勝を果たしました。

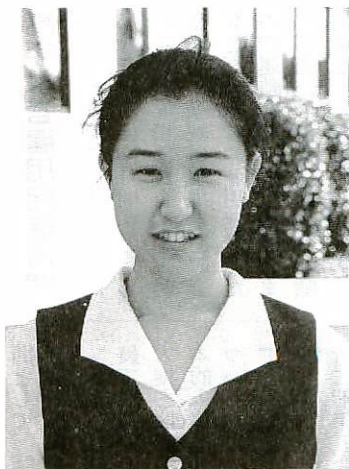
篠崎さんがアーチェリーを始めたのは、会社を退職後の平成元年四月、市報に載っていたアーチェリー初心者教室に申し込んだのがきっかけ。生来、じつとしているの

が嫌いな篠崎さんは、暑い日も寒い日も毎日三時間の練習を積み、一昨年には石川国体（第二十七回全国身体障害者スポーツ大会）に県代表として出場。見事、銀メダルに輝きました。

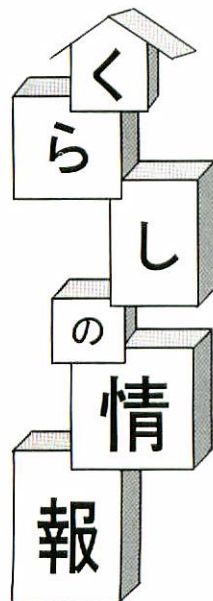
さわやかさん (6)

私たちの会社は大正十五年山浦町で創業、昭和三十八年に法人化され、今年で三十周年を迎えました。県内に四つの工場を持ち、唐あげやチキンナゲットなどチキンをベイスにした冷凍食品約八十種を主に製造。関東・関西を中心に全国に出荷しているほか、観光事業として「どんぐり村」の経営も手がけています。

私は入社三年目、受付と経理を担当。職場はみんな若いせい、上下関係にとらわれず、気軽に話ができる雰囲気です。プライベートでは、友人とドライブを兼ねた一泊の温泉旅行が楽しみです。鳥栖に映画館ができるといいですね。最後に、どんぐり村のホテルシエスタはきつと満足がいくホテルでお勧めですよ。



(株)ヨコオ本社勤務
馬場 容子さん
(21歳、平田町)



募集

青年海外協力隊説明会

とき 十月二十六日(火)・十一月十一日(木)午後六時半から同九時まで
ところ はぐれ荘(佐賀市内) 内容 派遣のシステムや待遇等の詳しい説明。隊員OB、OGの体験発表など。入場料予約は一切不要
問い合わせ 県庁国際交流課(☎0952-7004)

スポーツ

スポレクとす'93

親しみやすいスポーツを通して市民の交流を深め、健康増進と体力向上を図る「第三回鳥栖市スポーツレクリエーション祭」を十月二十四日(日)午前九時半、市民体育館をメイン会場に開きます。

種目はグラウンドゴルフ、バウンドテニス、男女別綱引き、

全九州ペタンク親善交流大会

とき 十月三十一日(日)午前九時半
ところ 市民公園多目的広場
参加資格 十八歳以上の方で、三人一チームで申し込むこと
参加料 一チーム千五百円
申し込み 十月二十七日までに参加料を添えて、ペタンク協会事務局(教育委員会社会体育課内 ☎3522)へ

催し

鳥栖の町づくりと歴史・文化講座

とき 十月十五日(金)午後七時〜九時
ところ 鳥栖商工会館
テーマ 田代領内の長崎街道申し込み 鳥栖歴史研究会・石橋新次(教育委員会社会教育課 ☎3695)へ

郷土資料講座

◆第七回「雲仙普賢岳と火砕流」
とき 十月十六日(土)午後一時半
ところ 市立図書館研修室
講師 山口敬(熊本地方気象台)
問い合わせ 教育委員会社会教育課(☎3695)

粗大ごみ収集(10月分) 問い合わせ/生活環境課(☎3560)

1日金	藤木町	今泉町	鉄道寮
4日月	本鳥栖町	元町	森木町 秋葉町
5日火	村田町	村田新町	競馬場団地 西新町
6日水	真木町	南部団地	高田町 安楽寺町 水屋町
7日木	山浦町	山浦団地	原古賀町 原古賀町住宅
8日金	牛原町	養父町	蔵上町
12日火	立石町	一本杉住宅	
13日水	山都町	平田町	
14日木	幸津町	儀徳町	前田町
15日金	西田町	江島町	三島町 下野町
18日月	永吉町	幡崎町	飯田町
19日火	姫方町	原町	松原町
20日水	曾根崎町	酒井東町	酒井西町
21日木	田代昌町	田代新町	田代上町 桜町
22日金	田代大官町	田代外町	田代外町住宅 柚比町
25日月	田代本町	今町	河内町
26日火	加藤田町	神辺町	浅井町
27日水	古賀町	古賀団地	柳団地 萱方町
28日木	中央区	本町	たばこ社宅 京町 本通町 東町
29日金	宿町	事業団宿舍	布津原町

◎指定日前日の夕方から当日の朝8時までに指定場所に出してください ◎粗大ごみの収集は2か月に1回です

ご存じですか

農地の貸し借り申し出は10月8日まで

農地の貸し借り(農地利用増進計画)の申し出期限は、十月八日(金)までになっています。農協各支所または農業委員会事務局へ早めに申し出てください。

詳しくは同事務局(☎3569)へ。

働くみんなのパートナートーク

十月は労働保険適用促進月間です。労働保険の加入はお

10月1日は「法の日」

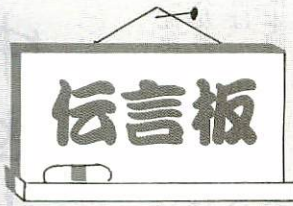
「法の日」は法を尊重し、法によって個人の基本的な人権を擁護し、社会の秩序を確立するという精神を高めるための日です。

裁判所、法務省、日本弁護士連合会では、毎年十月一日からの一週間を「法の日」週間として、講演会や座談会など各種行事を行います。

また、法務局と人権擁護委員では国民の皆さんの基本的人権を擁護するため、広く基

高齢者雇用促進月間

労働省や県では十月を「高齢者雇用促進月間」と定め、高齢者雇用優良企業の表彰や講演、継続雇用推進懇談会など高齢者の雇用促進のための運動を積極的に展開します。問い合わせは鳥栖公共職業安定所(☎3108)へ。



■第15回鳥栖「日本の童謡・唱歌を歌う会」

10月9日(土)午後1時半～3時半、市民文化会館。会費700円(小学生以下は無料)。秋の歌を中心に23曲を歌います。今回は15回目を記念して、童謡20曲を解説した小冊子「世代をつなぐ心の歌」も配布します。ふるってご参加ください。

詳しくは江下サツキ(古賀町 ☎ ☎3176)へ。

■ファミリー胎教コンサート

10月12日(火)午後1時、トスパレス。妊娠中や赤ちゃんを持つお母さんのための講演とコンサート。講師は橋本武夫・聖マリア病院副院長。入場無料。申し込みは鳥栖新聞事務局(☎ ☎37470)へ。

■久留米大学公開講座

10月16日(土)午後2時～同4時半、トスパレス。内容は▷「菊の道・鳥栖の古俳諧」田中道雄佐賀大学教授▷「僧大湖の漢詩・佐賀藩の生んだ漢詩人」岡村繁久留米大学文学部長。受講無料。詳しくは久留米大学広報室(☎ ☎7511)へ。

■紅葉登山(九重・黒岳)

10月24日(日)午前6時、市役所出発。黒岳(1,587m)に登ります。参加費大人4,000円、子供3,000円。鳥栖市山岳連盟主催。申し込みは西依政雄(市都市計画課 ☎ ☎3602)へ。

■久留米高専入試説明会と学校見学会

11月13日(土)午後2時半～5時、久留米高専講堂。対象は中学3年生とその保護者、教師。内容は①同校の特色、各学科の紹介②入学試験の説明③個別相談④ロボットの展示⑤校内の見学。申し込みは不要。なお、説明会は10月16日福岡市、同23日佐賀市でも開きます。詳しくは同校学生課(☎ ☎5385)へ。

消防設備士法定講習会

対象は消防設備士免状の交付を受けている者。免状の交付を受けた日から二年以内に最初の講習を受け、その後五年ごとに講習を受けることが義務付けられています。

会場は佐賀県労働者福祉会館(佐賀市)。申し込みは十月一日から同十五日までに佐賀県消防設備安全協会(〒84

14) 楠田正義(村田町 ☎ ☎5133)▽江口ナミ子(今泉町 ☎ ☎3098)▽佐藤勇夫(神辺町 ☎ ☎6515)▽楠田文子(平田町 ☎ ☎9966)▽松雪正義(本町 ☎ ☎2024)▽佐藤芳実(姫方町 ☎ ☎34

相談」を行っています。相談は無料で秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

鳥栖市には、人権擁護委員として次のみなさんがおられます(敬称略)。

と き	消防設備士の区分
10月26日(火)	第1類・2類の甲及び乙種
" 27日(水)	第3類の甲及び乙種
" 28日(木)	第4類の甲及び乙種、第7類の乙種
" 29日(金)	第5類の甲及び乙種
11月1日(月)	第6類の乙種

点検整備の準備はドライバーの基本

運輸省では十月末日まで定期点検整備促進運動を実施しています。

人が定期的に健康診断を受けるのが大切のようにクルマにとっても定期的な点検整備はとても大事なことです。快

0佐賀市八丁畷一―八 ☎ ☎952 ☎ ☎4067)へ。受講申請書は鳥栖・三養基地区消防事務組合予防課(☎ ☎7996)に用意しています。

保健

親子のふれあい教室

鳥栖保健所では、三歳から六歳までの幼児とその母親を

赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金にご協力を

十月一日から十二月三十一日まで「ひとりひとりの優しさは社会の資産です」をスローガンに全国一斉に共同募金運動が展開されます。市民のみなさんの募金に対するご理解とご協力をお願いします。詳しくは共同募金会鳥栖市支会(社会福祉協議会内 ☎ ☎3555)へ。

適で安全なドライブを楽しむために、きちんと点検を。問い合わせは九州陸運局佐賀陸運支局整備課(佐賀市 ☎ ☎0952 ☎ ☎7271)へ。

訂正

前号二ページ、平成五年鳥栖市長寿者番付の表中「前頭高尾キヨ98飯田」は「前頭高尾キミ98飯田」の誤りでした。おわびして訂正します。また、同六ページ、10月の園芸教室の記事中、鉢物の秋の手入れ「十二日(火)」は「十九日(火)」に変更になりました。

九月一日号九ページ、麻しん(はしか)予防接種の表中石田医院の実施曜日/実施時

対象に「親子のふれあい教室」を社会福祉会館で開きます。内容は親子遊び、グループワークと講話(親のみ)、友達遊び(子供のみ)。親子で楽しく遊び、みんなで育児についておしゃべりしませんか。

日程と講話内容は次のとおり。申し込みは同保健所保健係(☎ ☎2161)へ。

十一月二日(火) 園児の保育

を通して家庭の育児を考える十一月九日(火) 健やかな子供を育てるためには十一月十七日(水) 乳幼児健診の結果から育児を考える十一月二十五日(木) 肥満予防と子供の食事

十二月七日(火) 幼児教育の立場から育児を考える

※時間はいずれも午前十時から十一時四十分まで

高齢者就職情報

高齢者職業相談室(市役所商工課内)では、高齢者のための職業紹介や雇用相談を行っています。

現在、企業から次のような求人申し込みがあつています。詳しい仕事の内容や労働条件などは同相談室(☎ ☎3556)へ。

- 作業員(西新町)：男五十五～六十三歳、十四万九千円
- 倉庫整理(北茂安町)：男四十～六十五歳、十二万円
- 補助作業員(歳上町)男五十五～六十歳、十三万～十五万円
- 介護員(基山町)：女二十～六十歳、十二万円
- 製造工(藤木町)：女十八～六十歳、時給五百八十～六百三十円
- 雑務員(酒井西町)：女四十五～六十歳、九万～十万円

中世山城と筑紫氏

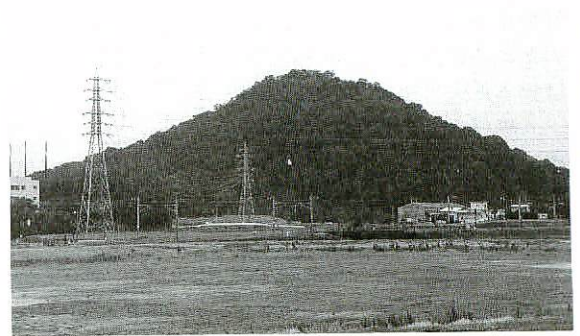
⑬筑紫氏 その十五

元亀元年（一五七〇）佐嘉城を大友勢によって囲まれた龍造寺隆信は、今山（現在の和町今山）に本陣を構えた大將大友八郎親秀を夜討ちによって討ち取り、大友方に大勝します。この戦いの結果、肥前中部における龍造寺隆信の覇権が確立するとともに、急速に龍造寺の勢力が拡大します。この間のことを『九州治乱記』では、龍造寺隆信所々征伐の事」として記しています。

家覚書では「筑紫越後守照門嫡子兵部少将門は、肥前ノ内綾部ノ城有て、龍造寺隆信と数年対陣に及びける。……今度勝負けつせんとして、壹萬余ノ人数にて綾部の城押寄ける所に、栄門四千余ノ人数にて城戸を開き出馬して、散々に入り乱れてぞ戦いける。……」と記録にとどめています。

元亀三年（一五七二）龍造寺隆信によって「朝日山城」を攻め落とされた筑紫広門は、ついに龍造寺の軍門に下ります。この朝日山城攻めのことを『九州治乱記』では「隆信東肥前へ出馬兩筑紫降参の事」として記録しています。な

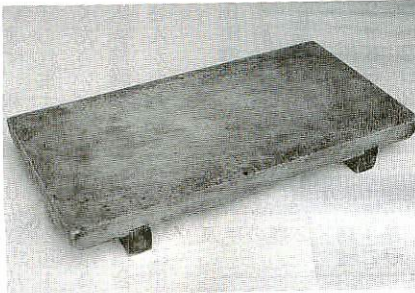
お、この時の講和の条件として、筑紫広門は「綾部城」と「千栗城」を龍造寺へ渡したことが知られています。



龍造寺によって攻め落とされた「朝日山城」（現在の朝日山）

消えゆく民具

一生活用具編一



組板（まないた）

昔は一般的だった足付きの組板

組板の「まな」は「真菜」あるいは「真魚」と書きます。「真菜」とは上等なおかずのことで、昔は魚が上等なおかずだったことから「真魚」とも書かれ、野菜のこととは「粗菜」（そな・そさい）と呼んでいたそうです。つまり、組板は魚菜を調理する時に使う木製の板や台のことです。

平安時代に書かれた漢和辞典『和名抄』では「中国では組、日本で末奈以太と呼び、切机のことである」

と説明しています。このことから組は中国から伝来したことがわかり、日本の古代では切机と呼んでいたことがわかります。

組板に使う材料はホウ・サワラ・ヒノキ・カシが一般的に用いられていましたが、最近ではプラスチックのものが衛生的で良いとも言われています。また、昔は足付きが一般的でしたが、現在ではほとんど姿を消し、一枚板に変わってしまいました。

今号の表紙



毎月第3土曜日の午後2時から、田代公民館でおはなし会と絵本の貸し出しをしている「おはなし文庫ぐるんぱ」。10人のお母さんたちの毎回工夫をこらした手遊びや絵本読み、紙芝居、手作りのおやつなどで、子供たちは読書の楽しさを味わっています。会費は100円。「田代以外の方もぜひ来てください」と呼びかけています。

パパ撮って



●パパからひと言

もっと強くたくましい子に。
女の子に泣かされるな。

吉山隆幸さんまゆ子さんの長男
大貴くん
（二歳二か月・真木町）

人口

平成5年9月1日現在

総数 56,078人 (+84)

男 26,748人 (+27)

女 29,330人 (+57)

世帯数 17,336世帯 (+43)



市の花 ハナシヨウブ



市の木 モチノキ

10月の納税

市 県 民 税(3期分)
国民健康保険税(5期分)

納期限 ●11月1日
(口座振替は10月29日引き落とし)

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合

TEL 84-2500

水道の修繕はすべて上記へ
お申し込みください